

教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

表現や鑑賞の活動において、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る学習や、感じ取ったことを基に、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもって音楽表現したり、音楽全体を味わって聴いたりする学習を充実する。

感じ取ったことや表現したい思いなどを伝え合い、気づきを深める事例

1 学年 第4学年

2 題材名 日本の音楽に親しもう

3 題材の目標

- 日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、我が国や郷土の伝統音楽に親しむようにする。
- 日本の音楽の特徴を感じ取りながら、味わって聴いたり、合奏の表現を工夫し、音を合わせて演奏したりするようにする。

4 言語活動の充実の視点

- 視点1：楽曲を聴き比べ、リズム、旋律、拍の流れなど、感じ取った特徴の違いを意見交換して、楽曲の良さや面白さを理解し、味わって聴いている。(鑑賞の能力)
- 視点2：楽曲のリズム、旋律、拍の流れ、歌い方などの特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す良さや面白さなどを感じ取りながら、表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いや意図を持っている。(音楽表現の創意工夫)

5 主な学習活動(全5時間)

段階	学習活動
第一次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーラン節」と「南部牛追い歌」を聴き比べ、それぞれの特徴を感じ取る。 ・二曲を聴き比べて感じ取ったこと、気付いたことを意見交換する。 ・出された意見を整理して板書し、それを基に 視点1 ・特徴を味わって、再度聴き比べる。
第二次 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・前次まで聴き取った民謡と照らし合わせて、「こきりこ」を聴く。 ・「こきりこ」の歌詞や歌い方、楽器の特徴などの気づきを発表し合う。 ・気付いた特徴の意見を基に、民謡の歌い方を工夫して歌う。 ・「デデレコデン」の部分を歌やリコーダーで重ね合わせてみる。 ・グループごとに楽曲に合ったリズム伴奏を工夫してつくる。 ・グループごとにリズムや拍の流れを感じ取りながら、つくったリズムや選んだ楽器の音を 視点2 ・合わせて、表現を工夫し、演奏する。

表現の学習において

- 考え方や気づきを言葉で伝え合うことに終始するのではなく、その意見を基に実際に歌い比べたり演奏したり、表現の仕方をいろいろ試して音楽表現を深めていくことを大切にしましょう。

鑑賞の学習において

- 感じ取ったことを適切な言葉など(体の動き、絵、音と関連付けた方法も含む)で表し、楽曲の特徴や演奏の良さを考え、自分なりの意味を見いだすことになげましょう。ただし、言葉に表すことが目的化することなく、最後は、楽曲(音楽)そのものをしっかり味わって聴くことを大切に学習展開にしましょう。

音楽的なコミュニケーションについて

- 自分が感じ取ったことを言葉で表し、友達と意見交換をすることにより、友達の感じ方に気付いたり、自分の感じ方を広げたりする学習展開も工夫しましょう。

評価の観点

- 「音楽表現の創意工夫」と「鑑賞の能力」は、音楽科における思考・判断・表現に係る観点として位置付けます。
- 「音楽表現の創意工夫」では、音楽的な感受性に基つきながら、音楽表現を工夫し、どのように音楽で表すかについて思いや意図を持っている状況进行评估しましょう。
- 「鑑賞の能力」では、音楽的な感受性に基つきながら解釈したり価値を考えたり、それを言葉で表すなどして、音楽の良さや美しさを味わって聴いている状況进行评估しましょう。